

核兵器禁止条約を力に 核兵器のない世界を実現しよう

オンライン
(Zoomウェビナー)

被災68年・2022年3・1 ビキニデー

ことしの3・1ビキニデーは、核兵器禁止条約第1回締約国会議がおこなわれる特別な年に開かれます。会議は、核兵器禁止条約を普遍化するために、市民社会と諸国政府が共同して次の行動に踏み出す重要な機会となります。唯一の被爆国である日本政府が核兵器禁止条約に反対していることは、核兵器にしがみついた勢力を助けるものです。思想・信条・立場の違いを超えて、日本政府に核兵器禁止条約への参加をせまらしましょう。「禁止条約参加署名」をひろげて3・1ビキニデー集会(オンライン)に参加しましょう。

2月28日(月) 日本原水協全国集会&3・1ビキニデー特別企画

第1部 日本原水協全国集会 13:00~14:30

主催：原水爆禁止日本協議会

今年の運動の柱となる基調報告、海外代表との交流フォーラムでは、中国封じ込めネットワークを拡大する米国、NATO加盟国でありながら、禁止条約締約国会議にオブザーバー参加するドイツ、朝鮮半島の非核化と北東アジアの非核化にとって重要な立場にいる韓国からそれぞれ代表が参加します。また、署名運動、自治体意見書決議のとりにくみなど日本の草の根の活動交流をおこないます。

【主なプログラム】

基調報告 安井正和(日本原水協事務局長)

海外代表との交流フォーラム「禁止条約を力に ともに核兵器のない世界へ」

ジョゼフ・ガーンソン(アメリカ)、マリオン・キュプカー(ドイツ)、イ・ジュンキュ(韓国)、

コーディネーター:土田弥生(日本原水協事務局次長)

※全国の参加者からの質問に答えます。

草の根の運動から

みんなであたおう

海外代表紹介



ジョゼフ・ガーンソン
(平和・軍縮・共通安全保障
キャンペーン議長/アメリカ)



マリオン・キュプカー
(ドイツ有和会/ドイツ)



イ・ジュンキュ
(韓神大学統一平和政策
研究院上級研究員/韓国)

第2部 3・1ビキニデー特別企画 14:30~15:30

主催：原水爆禁止世界大会実行委員会、3・1ビキニデー静岡県実行委員会

パネル討論「核兵器禁止・廃絶をリードする日本へ」

「核兵器禁止・廃絶をリードする日本」をめざし、広範で多様な立場の人々・運動から、協力・共同を発展させる場です。参加者のみなさんの質問に答えます。

司会(コーディネーター):前川史郎(日本原水協担当常任理事)

パネリスト



和田征子
(日本原水爆被害者団体協議会事務局次長)



中野晃一
(上智大学教授)



武本匡弘
(プロダイバー/環境活動家)



中村涼香
(KNOW NUKES TOKYO共同代表)

他に国会議員

2022年3・1パンフレットで学習・参加を 広げましょう

頒価 220円 B5版 16ページ

核兵器をめぐる情勢と変化、日本政府の選択がもたらす危険と日本を変える運動の役割など、この学習パンフを入りに、ビキニデー集会に参加しましょう。



3月1日(火)被災68年2022年3・1ビキニデー集会

オンライン
(Zoomウェビナー)

被爆とビキニ・太平洋の核実験被害の告発、被害者の援護連帯を

主催 原水爆禁止世界大会実行委員会、3・1ビキニデー静岡県実行委員会

第1部 13:00~

オープニング うたごえのみなさん

主催者挨拶 石原 洋輔 静岡県原水爆被害者の会会長 (静岡県実行委員会)

来賓挨拶 アレクサンダー・クメント大使
(オーストリア外務省軍縮・軍備管理・不拡散局長)

焼津市長、日本被団協

メッセージ紹介、主催者報告

第2部 13:50 (予定) ~15:30

文化企画

ラテンジャズ

ピアノ (小島太郎) &

フルート (茅原里佳子) の演奏



メイン企画 証言：「原爆、ビキニ核実験被害の現在と救済」



「黒い雨」訴訟の高裁判決の歴史的意義と今後の課題

竹森 雅泰
(「黒い雨」訴訟弁護団事務局長 / 弁護士)



マーシャルの高い残留放射能を告発

イヴァナ・ニコリック・ヒューズ
(コロンビア大学上級講師)



太平洋の水爆実験被害の全体像と今日的な課題

野口 邦和
(世界大会実行委員会運営委員会代表)

長崎原爆被害の報告

朝鮮人被爆者の証言

ビキニ水爆被害の報告

3・1ビキニデー集会の魅力

●第1部は、オーストリア・ウィーンで開催が予定されている核兵器禁止条約第1回締約国会議で議長を務める同国外務省のアレクサンダー・クメント大使が登場します。禁止条約の締約国会議を目前に、最新の情報と会議にかける思い、NGOの役割などを直接聞くことができる絶好の機会です。



アレクサンダー・クメント

●第2部は、「原爆、ビキニ核実験被害の現在と救済」をテーマにしたメインの企画です。広島・長崎の被爆から77年、ビキニ被災から68年、被爆・核実験被害に焦点をあて、核兵器の非人道性を告発し、とりくむべき課題と問題点を明らかにします。

メイン企画の証言は、禁止条約締約国会議にメッセージとして届けられます。

参加登録について

日本原水協全国集会&3・1ビキニデー特別企画(2月28日)、被災68年3・1ビキニデー集会(3月1日)それぞれに参加登録費がかかります。

各地の都道府県原水協および関係する団体を通じて申し込みをお願いします。個人の参加をご希望のみなさんは、日本原水協に直接お申込みください。登録者には、順次参加URLがメールで通知されます。詳細はHPをご覧ください。

お問い合わせ

原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター6階

TEL 03-5842-6031 FAX 03-5842-6033

http://www.antiatom.org/ E-mail : antiatom55@hotmail.com